

## 7月の誕生花⑦

誕生花とは生まれた日にちなんで1年365日それぞれに特定の花を割り当てたものです。誕生日には、その日を象徴する誕生花を贈ってお祝いをするなどして親しまれています。



### 7月4日 【ギボウシ】

花言葉 「沈静」

日本に自生しているだけでも約20種類あると言われています。ヨーロッパに渡り、「ホスタ」という名で呼ばれ多くの改良品種が生まれました。日陰でもよく育つ上に葉色や草姿が美しく、国内外に愛好家がいいます。

### 7月16日 【ツククサ】

花言葉 「尊敬」

日本各地や中国でも見られる一年草で、水溶性の色素を持っています。水洗いをするとき流れるので、友禅などの染め物の下絵を描く時に、この花の色素が用いられるようになりました。



### 7月22日 【ナツツバキ】

花言葉 「気品」

夏椿（ナツツバキ）という和名は、ツバキに似た花を夏に咲かせることから名付けられました。朝開き夜には落ちてしまう一日花です。



### 7月26日 【ヤマトナデシコ】

花言葉 「無邪気」

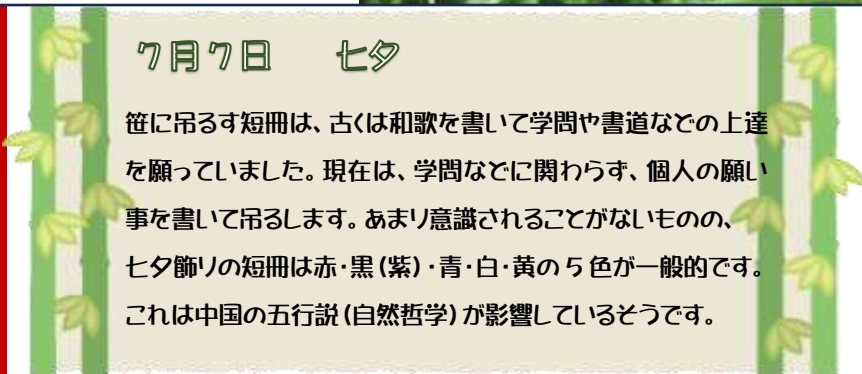
秋の七草の一つです。日本に古くから自生するヤマトナデシコをカワラナデシコといい、その名の通り日当たりのよい河原や山野に自生します。花卉の先が糸状に深裂する深紅色の花が、「大和なでしこ」の慎ましやかな雰囲気を感じさせます。



2025  
7月

### 7月7日 七夕

笹に吊るす短冊は、古くは和歌を書いて学問や書道などの上達を願っていました。現在は、学問などに関わらず、個人の願い事を書いて吊るします。あまり意識されることがないものの、七夕飾りの短冊は赤・黒(紫)・青・白・黄の5色が一般的です。これは中国の五行説(自然哲学)が影響しているそうです。



## 植物家紋 ⑦

# 桔梗 ききょう

桔梗はキキョウ科の多年草で「秋の七草」の1つです。文様としては平安中期から見られます。形の美しさと桔梗という文字が「更に吉」という文字で構成されていることから吉祥的な意義で家紋となりました。



桔梗

使用苗字：明智、脇坂  
金森、清水 等



裏桔梗

使用苗字：井上、寒河



八重桔梗

使用苗字：太田、荒川、  
曾谷、大八木、等

## 樹木の雑学 ⑦ 木と草の違い

「木と草の違いは？」と聞かれたら、あなたはなんと答えますか？

木は茶色い幹で、背が高くても…草は緑色で、茎が短くて…といった感じでしょうか。

でも、中には草だと思っていたら木だったり、木だと思っていたら草だったりする植物もあるんです。



ハーブで知られる  
ラベンダーやタイムは木です。

どんなに背が大きくても  
ヒマワリは草です。



名前に『草』がついていても  
ジャガイモは木の仲間です。

バナナは巨大な草なんです。



樹木の特徴は「形成層」があることです。

「樹木＝木」には、木の皮（樹皮）のすぐ内側に沿って生きた細胞の層「形成層」があります。形成層は細胞を作り、細胞を幹の内側へ送り出します。送り出された細胞はやがて死に、細胞壁のみ残ります。この部分を「木部」といいます。「樹木」はこの細胞壁（木部）を蓄積していくことによって、幹を太くしていきます。これを肥大生長と言い、これが「樹木」の特徴です。「草花」には形成層がなく、ある程度生長するとそれ以上は太くなりません。木と草の違い、それは形成層があるか無いかなのです。



## ◆本の紹介◆



食べられる野草 160 種以上を、ハンディな 1 冊で紹介。  
適した調理法&美味しい「イチオシ」までカラー写真でわかりやすく解説されています。

著者：森 昭彦  
出版：自由国民社



踏まれてみたり、寄生したり、あえて枯れてみたり…どんな雑草もポ〜ッと生えてるわけじゃない！雑草たちのバラエティに富んだ命をつなぐための「知的なくらみ」をユーモアと愛情あふれる文章で紹介する本。

著者：稲垣 栄洋  
出版：三笠書房